

# ライフジャケット推進事業



## 令和4年度 事業報告書

観音寺市立柞田小学校(学校における水難事故防止対策強化事業)

海や川、池などで様々な活動を行うことは、自然に囲まれた日本で生活する私たちにとって日常적인ものでもあります。しかし、毎年のように水難事故は発生しており、児童生徒等がそれらの事故で命を落とすこともしばしばあります。降水量が少なく渇水の多い香川県では、古くから農業用水をためるため県内各地にため池が多くあり、海や川だけでなく、ため池に係る事故も発生しています。

香川県教育委員会では、児童生徒等の生涯にわたって心身の健康を保持増進する資質・能力及び自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力の育成を目指して、ライフジャケット推進事業を行っております。また、本事業によって、児童生徒等(学校)から保護者、地域等へ水難事故防止意識高揚の波及にもつなげ、香川県全体の水難事故0をめざす取組みを進めております。

令和4年度は、水難事故防止につなげる取組みとして以下の3つを行いました。

- ①学校における水難事故防止対策強化事業
- ②ライフジャケットレンタルステーション
- ③ライフジャケット親子体験教室

本事業報告書では、これらの取組みの概要及び成果や課題を掲載しております。各学校(園)または各地域における水難事故防止に向けた取組みの参考にさせていただければ幸いです。

# 学校における水難事故防止対策強化事業

## 目的

自己保全のための学習の指導内容や指導方法等の工夫について実践研究を行う「学校における水難事故防止対策強化事業」（スポーツ庁「令和の日本型学校体育構築支援事業」委託事業）として、運動領域「水泳運動系」等の指導に係る専門家等を派遣し、体育授業のサポートを行い、指導の充実を図るとともに、当該地区や県内全域に成果を発信し、香川県全体の水難事故防止につなげる。

## 事業内容

### 令和4年度研究推進校

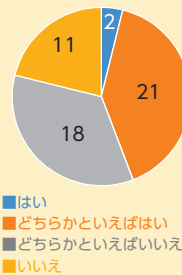
- ・高松市立屋島西小学校
- ・高松市立弦打小学校
- ・高松市立庵治小学校
- ・高松市立川島小学校
- ・高松市立香西小学校
- ・観音寺市立柞田小学校
- ・三木町立氷上小学校
- ・宇多津町立宇多津北小学校
- ・綾川町立綾上小学校
- ・まんのう町立琴南小学校
- ・多度津町立豊原小学校

### 派遣団体・講師

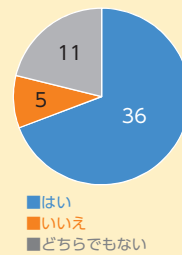
- ・香川大学教育学部
- ・高松海上保安部  
(坂出海上保安署)
- ・香川県B&G財団連絡協議会

### 研究推進校の先生（52名）に事前アンケートを行いました。

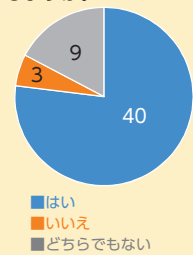
水泳の指導は得意ですか。



「着衣泳」の自分の指導に不安を感じますか。



「ライフジャケット」の自分の指導に不安を感じますか。



※ ほかに、自分自身が着衣泳を経験したことがないと回答した教員が44%、ライフジャケットを着用して水の中に入ったことがないと回答した教員が29%でした。



### 研究推進校の実践から

- ライフジャケットを活用した授業を取り入れた単元デザインの例  
⇒ 実践では3つのパターンに分かれました。

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



#### 単元のはじめ

- ・ライフジャケット等で浮く体験は水への恐怖心を和らげてくれました。
- ・水辺の安全について、一緒に考える機会をつくったので、その後の水泳授業に生かすことができました。

#### 単元の中ごろ

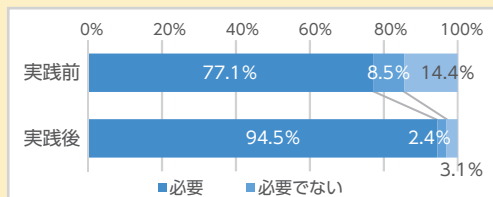
- ・ライフジャケット等で浮き沈みしながらタイミングよく呼吸することを再認識できたので、単元の後半のゆったりと長く泳ぐ活動につながりました。

#### 単元のおわり

- ・夏休み前の授業で実施しました。児童からは「水辺に遊びに行く時はライフジャケットが必要だ」との声がたくさんあがりました。

### 子どもたち（1002名）の声を聞きました。

ライフジャケットは必要だと思いますか。



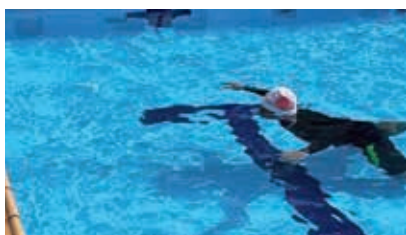
- ・初めてライフジャケットを着けて水の中に入りました。何もなくても勝手に浮いてくる感じがとても楽しかったです。
- ・股下のベルトを着けていないと、ライフジャケットが脱げてしまうことを初めて知りました。
- ・ライフジャケットを外すと浮きにくかったです。ライフジャケットなしでも浮けるようになります。



## ライフジャケットを活用した授業ってどんな授業？

⇒ 実践では3つの授業の流れを行いました。

時間	授業1	授業2	授業3
0	授業開始	授業開始（着衣のまま）	授業開始
15	1. 理論的学習 「人間の体は浮くのか？」 2. 背浮きや浮き沈み	1. 着衣での水の抵抗体験 2. 背浮き 3. ペットボトルを使っ ての背浮き	1. バディシステムの確認 2. 背浮き 3. ペットボトルを使っ ての背浮き
30	3. ライフジャケットを着用 して浮いてみる 4. ライフジャケットを着用 して進んでみる	4. ライフジャケットを使っ て浮く	4. ライフジャケットを使っ て浮く（救助を待つ） ①1人で ②複数人で
45	授業終了	授業終了	授業終了



体の2%は水面から上がってくることを、講師の先生が実践した。



ペットボトルがあるだけで浮くことができることを実感した。



1人で救助を待つ方法、複数人で救助を待つ方法を学んだ。

### 研究推進校より

- ・ 今回の実践を終えて、改めて発達段階に応じて「もぐる・浮く運動」を計画的に指導することの大切さを再認識した。バブリングやポビングなどの「呼吸」に重点を置き、低学年から系統的に学べるようにもしたい。
- ・ ライフジャケットの貸出をスムーズにできるように体制を整え、このような体験学習を推進してほしい。
- ・ 授業参観等で保護者にも直接見ていただく機会を設けるなど、学校と家庭が連携してさらに水難事故防止に向けて取り組んでいきたい。

### Q&A 学校における水難事故防止対策強化事業

Q1 私たちの学校も事業の申込みをしたいのですが。

A 4月末～5月頃に県内すべての小学校に募集をかける予定です。

Q2 講師の方の謝金や旅費は？

A すべて県教育委員会が負担します。学校が準備するのは授業計画のみです。

Q3 どのように授業の計画を作成すればよいか分かりません。

A 派遣する講師と打合せをしながら一緒に考えることも可能です。

Q4 幼稚園、中学校も申込みできる？

A 本事業は小学校を対象としていますが関係機関と連携して、幅広く対応できるよう検討していきます。

### ライフジャケット親子体験教室

- 日時：令和4年6月11日(土)  
10:00～12:00
- 会場：香川県立総合水泳プール屋内競技場
- 指導者：香川県B&G財団連絡協議会
- 参加者：県内の親子6組12名

水に対して恐怖心があり、保護者の腕にずっとしがみついていた児童が、一人で水に浮く体験が初めてできました。最後はライフジャケットを装着した状態で、浮島からプールに飛び込んでいました。



※令和4年8月2日に予定していました教員研修「子どもがときめく授業づくり研修会（水泳運動系における安全確保につながる運動）」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となりました。

# ライフジャケットレンタルステーション

香川県教育委員会は、ライフジャケットを“無料”で貸し出す「ライフジャケットレンタルステーション」を開設しています。プールや海、川などでの活動の際に、ぜひご活用ください！

## ①貸出物品

No.	貸出物品	貸出数量
1	ライフジャケット子ども用Mサイズ(85~125cm)	100
2	ライフジャケット子ども用Lサイズ(125~155cm)	100
3	ライフジャケット大人用(フリーサイズ)	40

## ②貸出対象

幼稚園、こども園、小学校、中学校等  
幼児、児童、生徒を引率・監督する県内の団体等

## ③貸出期間

原則1週間以内

## ④物品受取場所

香川県教育委員会事務局保健体育課  
〒760-8582 高松市天神前6番1号4階



貸出要領

## 【令和4年度貸出実績】

### ○貸出件数

・幼稚園・こども園 … 5園  
・小学校 … 12校  
・中学校 … 1校  
・高等学校 … 1校  
・団体等 … 12団体  
(合計31件)

### ○貸出数

・子ども用Mサイズ … 437着  
・子ども用Lサイズ … 454着  
・大人用 … 114着  
(合計1005着)

### ○主な使用目的

・体育水泳授業での使用  
・野外活動、総合的な学習の時間等での使用  
・安全教室等イベントでの使用

## Q&A レンタルステーション

Q1 どうすれば借りることができるの？

A1 まずは電話で保健体育課にお問い合わせください。  
(保健体育課 087-832-3764)

Q2 ライフジャケットの着け方が分かりません。

A2 ライフジャケットをお渡しするときに、担当者が丁寧に教えます。資料も準備します。

Q3 家族で遊びに行く時に借りたいのですが…

A3 大変申し訳ございません。  
個人への貸出はお断りしています。



## 検討体制

本事業においては、成果と課題等の検討、香川県の安全教育の充実並びに安全意識の高揚を図るための成果発信等を行うため、下記のとおり研究推進委員会を設置し、年2回の会議を開催しています。

### 【研究推進委員】

所属・役職	氏名
香川大学教育学部・教授	石川 雄一
香川県防災センター・センター長	高島 眞治
高松海上保安部・部長	藤吉 克博
香川県消防長会・会長	南原 康宏
高松市国分寺B&G海洋センター・所長	高橋 正光
香川県ライフセービング協会・委員	菊池 賢
香川県立総合水泳プール・所長	植村 佳員
子どもたちにライフジャケを！・代表	森重 裕二
香川県教育委員会事務局保健体育課・課長	宮滝 寛己

- ・第1回会議…令和4年5月12日(木)
- ・第2回会議…令和4年12月15日(木)

## お知らせ

- 6~7月はライフジャケットの貸出希望が多い時期です。希望する学校(園)、団体等は、お早めに下記までご連絡ください。
- 現在、香川県内の全市町教育委員会がライフジャケットを保有しています。授業等でライフジャケットを使用したい学校(園)は、各市町の教育委員会にもお問い合わせください。
- 令和5年度も本事業のすべてを継続して実施する予定です。各学校(園)等の積極的な活用・参加をお待ちしております。

### 【問合せ先】

香川県教育委員会事務局保健体育課

T E L : 087-832-3764

F A X : 087-806-0235

E-mail : hv3150@pref.kagawa.lg.jp